

平成二十八年年度 入学試験（平成27年12月4日）

「国語総合」

戸田中央看護専門学校

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

孤独という言葉の意味を考えてみましょう。孤独という言葉にネガティブな印象を抱くのは、私たちがこの言葉の意味を、いくつかの（あ）ルイジ¹した言葉と混同して受け止めていることがひとつの要因だと思われる。

その言葉とは、（A）「孤立」「孤絶」という言葉です。

孤独という言葉を目にしたとき、または自分で口にしたときもそうですが、私たちは知らず知らずのうちに、これらの言葉を同時に思い浮かべているような気がします。

それぞれの意味は微妙に違います。英語に置き換えるとよくわかるかもしれません。英語で「孤独」は *solitude* です。これは、ひとりでいる状態を意味しています。「孤立」は *loneliness* で、自分がさびしいと思う、むしろ心理的な状態のことをさすのです。

「孤絶」は、自分が意識的にまわりとの関係を絶って、人里離れた場所などに閉じこもることです。こうしたものが重なり合つてとらえられ、どちらかというとネガティブな印象で孤独が受け止められているのです。

一、現実の私たちの生活では、孤独な状態と他人との共同性のようなものが、ある種バランスよく適度に混ざっている状態がいちばんいいのです。ひとりでいることは、けっして悪いことではありません。すでに述べてきたように、よきコミュニケーションをするためには、絶対に必要なことなのだ肯定的にとらえることが大切だと思います。

【a】ひとりになるといっても、いろいろな状態があります。たとえば、ひとり静かに本を読むということです。ところが、読書は相当部分はひとりでいる状態なのですが、（B）厳密な意味では「ひとり」とはいいい切れません。なぜか。本を通して言語世界とつながっているからです。ひとり音楽を聴くということもあります。これも音楽を音楽言語ととらえられれば、書物と同じように言語社会にいたので、厳密にはひとりになるという状態とはいえませんが。

テレビや映画を見るのも言語世界の行為ですし、写真や絵画を観るのもそれらを（c）エイゾウ言語ととらえれば、同じことになります。

そうした本や音楽などがまったくなくない大自然や、ある種の隔絶された空間や時間のなかに逃げ込んだとします。そこではひとりになれるかといえれば、やはり私たちが言葉で物事を考えているかぎり厳密な意味ではひとりとはいえないのです。

つまり、私たちはひとりになるといっても、どうしても言語世界、すなわち社会とつながってしまうという事です。このことは、私たちがまわりの関係性から隔絶することはありえないことを意味しています。

【b】人間が言語を使う存在であるかぎり、まったく孤独な状態になることはないのです。だから、安心してひとりになっていいのです。

二〇世紀の初頭に確立された現象学という哲学の方法論があります。その現象学には「間主観性」という考え方があり、この考え方を社会に（d）デキョウしたのが、アメリカの現象学的社会学者アルフレッド・シュッツです。

簡単にいえば、次のような考え方です。

私たちは、自分が考えたり思ったりしていることを「主観」というけれど、私たちは社会的な存在で社会のなかで言語を使って生きているのだから、自分自身の主観性は、じつは人びとがつくった社会における主観性のなかで行っていることにすぎない、と。

この考え方が、私たちは言語世界のなかで生きていくかぎり完全な孤独はなく、完全に孤立することはない、ということの（お）コンキョです。

Ⅱ、（C）ひとりであることはいけないことだ、という社会からの刷り込みも間主観性のひとつです。そのほかにも、私たちは社会がつくりあげた物事の考えを、あたかも自分で考えたことのように、そのまま語っていることが多いのです。主観的なことを言っているように見えて、じつはこれまで社会をつくってきた無数の人びとがつくりあげたものを、そのまま自分が語っているにすぎないのだ、ということなのです。

つまり、純粹な自分の主観的な考えと、社会によってつくられた主観性との二重の主観性があった、私たちは社会によってつくられた主観性の枠組みのなかで物事を考えているということなのです。

社会がつくりあげた主観性の影響はどうしても強い。言語世界や社会から離れて完全な孤独になり、まったく自由にさまざまな思考をめぐらせてみたいと思っても、社会がつくりあげたもののなかに自分自身がどっぷりと浸かっているわけだから、それは絶対にできないということなのです。そうすると、私たちはすべてが社会の主観性に動かされている、受け身的な存在になってしまう。では、社会の間主観性に引きずられっぱなしなら、「個」は、どのような形で確立し、存在するのだろうか、という疑問が当然わいてきます。

【c】そこでクローズアップされるべきものが、「孤独力」なのです。

いつもⅢな力で、自己を支配しようとする社会でいきなればならないからこそ、ときに意識的にそうした社会から離れなければならないのです。

一日二四時間、そのような社会的な言語で支配されている状態で居続けると、自分というものの、本来の自己というものを取りもどせないのではないか。自分が自分にもどるために、意識的に社会のいろいろな関係性から離れようとする力、つまり孤独力をつけなければならぬと、私は思っています。

【d】孤独な状態に自分を置くことは、極めて意識的で主体的な行為です。何となく孤独であるとか、他律的に孤独な状態に置かれたような場合とは、まったく違う。自ら意識せずに孤独になったとき、人は孤立感におそわれます。ここをきちんとわけていければ、けっして孤独がネガティブなものではないことがわかれると思います。

同じく意識的に社会から離れる行為として孤絶があります。この場合は、これから先もずっと社会との関係を絶つというようなⅣが強い。そこが孤独との違いだと思います。私がいふ孤独は、社会で戦うための（お）ジッチですから、必ず再び社会にもどるといふ意志とチャンネルを秘めているのです。

つまり「（D）自己を取りもどすための孤独」ということです。私は、孤独をそういうふうにも再定義するべきだと考えています。

（武長脩行『「友だちいない」は「恥ずかしい」のか』平凡社新書、による）

問一、傍線部(あ)く(お)のカタカナの部分にあたる漢字を、次の各群の1〜4のうちから、それぞれ一つ選びなさい。

【あ：解答番号1、い：解答番号2、う：解答番号3、え：解答番号4、お：解答番号5】

- | | | | | | |
|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| (あ) | ルイシ | 1、而 | 2、示 | 3、治 | 4、似 |
| (い) | エイゾウ | 1、象 | 2、像 | 3、造 | 4、増 |
| (う) | テキヨウ | 1、適 | 2、摘 | 3、鏝 | 4、的 |
| (え) | コンキョ | 1、居 | 2、処 | 3、抛 | 4、挙 |
| (お) | ジンチ | 1、陣 | 2、陳 | 3、迅 | 4、仁 |

問二、傍線部(A)「『孤立』『孤絶』」とあるが、「孤独」とどういった点で異なると筆者は考えているか。もつとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号6】

- 1、「孤独」は自由に思考をめぐらせられる状態を指すが、「孤立」は社会がつくった主観性に縛られている状態を指し、「孤絶」は言語世界に縛られている状態を指すという点。
- 2、「孤独」は一時的に社会から離れる状態を指すが、「孤立」がひとりである時のさびしいという心理的状态を指し、「孤絶」は恒久的に社会から離れる状態を指すという点。
- 3、「孤独」は他者との関係性から離れている状態を指すが、「孤立」は本や音楽を通して他者とつながっている状態をさすという点。
- 4、「孤独」は自己を取りもどすためにひとりになる状態を指すが、「孤立」はまわりとの関係性から逃げて、「孤絶」は社会から逃げてひとりになる状態を指すという点。

問三、空欄□に入る接続表現としてもつとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号7】

- 1、もつとも
- 2、そのうえ
- 3、たとえば
- 4、しかし

問四、傍線部(B)「厳密な意味では“ひとり”とはいいい切れません」とあるが、それはなぜか。もつとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号8】

- 1、人間である以上、言語社会と関係性を持つ行為と無縁でいることはできないから。
- 2、人間の社会性を考えると、言語を操らないで交流することは不可能だから。
- 3、人間とは言語を通じて否応なしに空間的に社会とつながってしまうものだから。
- 4、人間が言語を対話の道具ととらえている以上、他者の存在を考えざるを得ないから。

問五、空欄□に入る接続表現としてもつとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号9】

- 1、なぜなら
- 2、それで
- 3、まして
- 4、たとえば

問六、傍線部（C）「ひとりでいることはいけないことだ、という社会からの刷り込みも」とあるが、どういうことか。もつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号10】

- 1、ひとりでいることはいけないことだが、社会的主観性によって更にそれをいけないことだと考えてしまっているということ。
- 2、ひとりでいることはそういけないことではないが、自分の思い込みによっていけないことだと勘違いしているということ。
- 3、ひとりでいることはいけないことではないが、マスコミをはじめとする社会の風潮によっていけないものとされているということ。
- 4、ひとりでいることは本来いけないことではないが、社会の中で作られた枠組みによってそう思い込まれているということ。

問七、空欄 ㉓ に入ることばとしてもつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号11】

- 1、分析的
- 2、圧倒的
- 3、抽象的
- 4、主体的

問八、空欄 ㉔ に入ることばとしてもつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号12】

- 1、デメリット
- 2、リスク
- 3、ニュアンス
- 4、ヒント

問九、傍線部（D）「自己を取りもどすための孤独」とあるが、それはどういったものか。もつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号13】

- 1、社会の主観性に支配された状態から自己を回復させ、再び社会で生きていかせるもの。
- 2、閉鎖的で受身的な状態に置かれている自己を積極的に社会と関わらせるもの。
- 3、周囲との関係を完全に絶ってしまった状態の自己を、社会に最適させるもの。
- 4、他律的な状態に置かれている自己を社会の支配と戦わせ、離脱させるもの。

問十、次の一文を挿入する箇所としてもつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号14】

そのことが、人間は社会的な存在であるということなのです。

- 1、 【a】
- 2、 【b】
- 3、 【c】
- 4、 【d】

問十一、本文の内容と合致しないものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号15】

- 1、どんなに隔絶された環境に身を置いたとしても、人間である以上ひとりの状態になることはない。
- 2、人間は社会的枠組みの中で自己の主観性を発揮しているに過ぎない存在であるといえる。
- 3、つねに社会的主観性に支配されている人間は社会から距離を取り続けなければならない。
- 4、私たちが自分で語っているかのように感じている事柄は、実は社会的な枠組みで考えている場合が多い。

二、16～20について、正しい読みを1～4から選びなさい。

【解答番号 16～20】

- | | | | | | |
|----|----|--------|--------|--------|--------|
| 16 | 緩和 | 1、えんわ | 2、かんわ | 3、だんわ | 4、ゆうわ |
| 17 | 措辞 | 1、せきじ | 2、しゃくじ | 3、そじ | 4、ちようじ |
| 18 | 滅菌 | 1、げんきん | 2、ぼつきん | 3、めつきん | 4、めつきん |
| 19 | 岐路 | 1、きろ | 2、しろ | 3、しじ | 4、きじ |
| 20 | 偏頗 | 1、へんぱ | 2、へんび | 3、へんぴ | 4、へんぶ |

三、21～24の四字熟語の空欄に入る漢字としても適当なものを1～4から選びなさい。

【解答番号 21～24】

- | | | | | | |
|----|------|-----|-----|-----|-----|
| 21 | 二束■文 | 1、一 | 2、三 | 3、五 | 4、十 |
| 22 | 森羅■象 | 1、一 | 2、十 | 3、千 | 4、万 |
| 23 | 三拝■拝 | 1、三 | 2、五 | 3、九 | 4、百 |
| 24 | ■里霧中 | 1、三 | 2、五 | 3、千 | 4、万 |

四、25～27の各慣用語の意味を、それぞれ1～4から選びなさい。

【解答番号 25～27】

- 25 鼻につく
- 1、注目される
 - 2、飽きていやになる
 - 3、悪臭がする
 - 4、見下されて不快になる

26 薄氷を履む
はくひょうをふ

- 1、なんとなく落ち着かない
- 2、すぐれた技術をもつ
- 3、物事に動じない
- 4、非常に危険な状況にのぞむ

27 冷や飯を食う

- 1、まわりに冷たく扱われる
- 2、儉約した生活をする
- 3、健康を損ねるようなことをする
- 4、意外な結果に驚く

五、28～30の作品の作者を、1～4からそれぞれひとつ選びなさい。

【解答番号 28～30】

- | | | | | | |
|--------|--------|---------|--------|----|-------|
| 28 | 『暗夜行路』 | 29 | 『雪国』 | 30 | 『黒い雨』 |
| 1、川端康成 | 2、井伏鱒二 | 3、三島由紀夫 | 4、志賀直哉 | | |